

二次医療圏の見直し検討について

二次医療圏設定の考え方

- **一体の区域**として病院における**入院に係る医療**（三次医療圏で提供することが適当と考えられるものを除く。）を提供する体制の確保を図ることが相当であると認められること
- **地理的条件等の自然的条件**及び**日常生活の需要の充足**状態、**交通事情等の社会的条件**等を考慮する必要があること

見直し検討対象医療圏の選定

二次医療圏の見直しの基準	各医療圏における左記 3 要件の該当状況																				
<p>国が示した医療計画作成指針では、特に次の 3 要件全てに該当する場合は、二次医療圏の設定見直しの検討を要請している。</p> <p>○ 人口規模が 2 0 万人未満</p> <p>○ 療養病床及び一般病床の推計流入入院患者割合が 2 0 %未満</p> <p>○ 療養病床及び一般病床の推計流出入院患者割合が 2 0 %以上</p>	<table><tr><th>医療圏 要件</th><th>仙南</th><th>仙台</th><th>大崎・栗原</th><th>石巻・登米 ・気仙沼</th></tr><tr><td>人口(人)</td><td>160,530</td><td>1,537,111</td><td>249,232</td><td>320,549</td></tr><tr><td>流入率(%)</td><td>6.5</td><td>14.9</td><td>15.6</td><td>5.1</td></tr><tr><td>流出率(%)</td><td>28.4</td><td>3.4</td><td>22.6</td><td>23.6</td></tr></table> <p>○流入率＝当該医療圏の入院患者のうち、他の医療圏からの入院（流入）患者の占める割合 ○流出率＝当該医療圏に居住している患者のうち、他の医療圏への入院（流出）患者の占める割合</p> <p>○人口の出典：「宮城県推計人口（令和5年6月1日現在）」（宮城県） ○流入流出率の出典：「平成29年患者調査」（厚生労働省）</p>	医療圏 要件	仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米 ・気仙沼	人口(人)	160,530	1,537,111	249,232	320,549	流入率(%)	6.5	14.9	15.6	5.1	流出率(%)	28.4	3.4	22.6	23.6
医療圏 要件	仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米 ・気仙沼																	
人口(人)	160,530	1,537,111	249,232	320,549																	
流入率(%)	6.5	14.9	15.6	5.1																	
流出率(%)	28.4	3.4	22.6	23.6																	

以上から本県では、「**仙南医療圏**」を**二次医療圏の設定見直しの検討対象**として選定

【一体の区域として入院医療を提供する体制の妥当性について】

区分	状況	状況（左記）の補足事項
地理的条件等の自然的条件	○ 面積は、仙南医療圏では約1,551km ² であり、隣接する仙台医療圏では約1,649km ² となっている。仮に 両医療圏を統合 した場合は、 全国の医療圏のうち、上位5%の広さ になる。	○ 全国では、1,500km ² 未満の面積である二次医療圏が約8割を占める。 ○ 左記の 両医療圏を統合 した場合、 都道府県面積に対する割合は約44% になり、上位5%の広さとなる全国の二次医療圏の中で最も高くなる。
日常生活の需要の充足状態	○ 急性期相当 の入院に対する仙南医療圏の 地域完結率（R3年）は低くなっている 。 ○ 仙南医療圏の 救急搬送の圏域内搬送率（R3年）は84.6% であり、一定程度地域で完結している。	○ 地域完結率は、 急性期一般入院料1～7で50% 、DPCを採用しているレセプトでは64%に留まっている。なお、これらを市町別に見ると、7割を下回っているのは、角田市、柴田町、川崎町及び丸森町になっている。 ○ 全国の救急搬送の圏域内搬送率は82.6% であり、仙南医療圏が上回っている。
交通事情	○ 入院機能を有する仙南医療圏の各医療機関から、 同医療圏の地域医療支援病院 であるみやぎ県南中核病院までの アクセス時間は、概ね30分以内 に収まっている。 ○ これに対して、 仙台医療圏の地域医療支援病院 までの アクセス時間は、約50分 （高速道路利用時）に拡大する。	○ 仙南医療圏では、丸森町国民健康保険丸森病院からのアクセス時間が最も長くなり、約30分を要する。 ○ 仙台医療圏の地域医療支援病院のうち、最もアクセス時間が短くなるのは、仙台市立病院であるが、丸森町国民健康保険丸森病院までは約50分を要する。
その他	○ 地域医療構想における構想区域や既存の他の計画、行政管轄において、 現行の仙南医療圏と同じ圏域設定を行っている例が多い 。 ○ 新型コロナウイルス感染症 を踏まえた医療提供体制の 整備の過渡期 にある。	○ 仙南医療圏の圏域設定は、第8期みやぎ高齢者元気プランで定める 高齢者福祉圏域 、みやぎ障害者プランで定める 障害保健福祉圏域 と 同期 している。 ○ 仙南医療圏において、 緊急搬送を担う消防 は、仙南地域広域行政事務組合が管轄しており、 同医療圏の市町で構成 されている。 ○ 令和4年度からの10年間を計画期間とする 第六次仙台都市圏広域行政計画 では、 仙台医療圏と同じ圏域設定 をしており、構成市町村が連携して取り組むこととしている。 ○ 新興感染症発生・まん延時における医療提供体制への対応は、第8次医療計画から新規に記載することとしており、医療圏見直しによる検証は行われていない。

【見直しの方向性について】

以上の分析結果を踏まえ、右記の方向で整理

- 急性期入院の地域完結率は低くなっているが、面積や基幹病院へのアクセス時間、他の圏域設定等を総合的に勘案すると、現時点では、**現行の区域が適当であるため、見直しをしないことが妥当である**と考えられる。
- 一方で、今後の人口減少社会を鑑みれば、第9次医療計画なども視野に**長期スパンで検討していく課題**として認識。
- 引き続き、**医療関係者等の御意見も踏まえながら、妥当性を検討**していく。